

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 4, 事業名, 事業承継計画書の作成支援, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部名, 企業振興部, 担当課名, 経営支援課, 担当課長名, 佐々木隆太, 施策コード, 2, 施策名, 商工会ならではの事業承継の推進

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

県内企業の経営者平均年齢は、今後10年で引退平均年齢の70歳を超えることがわかっており、加えて商工会地区の商工業者アンケートでは76%の企業が事業承継に何らかの問題を抱えているという待ったなしの状態にある。

2. 事業のねらい

商工会が事業者にとって最も身近な支援機関として、これまで行ってきた経営相談から把握している事業者の情報をもとに、「継ぎたい」「継がせたい」と思うような経営体質の強化を図るとともに、承継のきっかけづくりからその後のフォローまで一貫した事業承継支援に取り組む。

3. これまでの評価結果

Table with 7 columns: 過年度, H29, -, H30, H31, H32

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 8 (チーム支援の実施), 9 (外部機関との連携), 10 (事業承継計画書の作成支援)

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns: 取組コード, 10, 取組コード, 取組コード, 指標名, 事業承継計画書の作成支援, 指標名, 指標名, 年度, H29, H30, H31, H32, H33, 年度, H29, H30, H31, H32, H33

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈評価の理由〉

自発的な事業承継計画作成が浸透するまで、より実現性の高い計画作成に向けた継続的支援が必要。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

県内支援機関とのネットワークを最大限活用し、目標通りの事業承継計画作成支援が実施できている。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

プッシュ型事業を活用することで、指導員の支援に係る時間的コストを削減できている。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

事業承継計画作成を更に浸透させ、県内企業の事業承継早期実現に向けて継続的な事業展開が必要である。

3. 課題

現段階では計画作成にとどまっている。

4. 今後の対応方針(改善点)

引き続き計画作成支援を行うとともに、作成した計画についてブラッシュアップを重ね、確実な実行支援で承継事例を積み重ねるよう、更に踏み込んだ支援にシフトしていく。